

「わが村は美しくー北海道」運動

第6回コンクール小樽ブロック 表彰式&意見交換会



【優秀賞】
米-1グランプリ
inらんこし
実行委員会

【奨励賞】
美国・美しい
海づくり
協議会

【奨励賞】
STAFF

真狩村道の駅管理組



2月13日(水)第1会議室において「わが村は美しくー北海道」運動第6回コンクール小樽ブロック表彰式を開催しました。

これまでの全道一括表彰から、建設部単位のブロック表彰に変更になって初めての開催でした。小樽ブロックでは、表彰状を授与するだけではなく、わが村運動の主旨である地域の発展やネットワークづくりを重点をおき、活動団体同士が集まることにより生まれる有意義な時間を提供するために、活動に活用できる話題提供や意見交換のできる場を設けました。当日は、表彰団体だけではなく応募のあった全ての団体を含む合計45名の出席の中、福本部長より表彰状を授与しました。

大吟醸ニセコ蔵人



北海道中央バス(株)
小樽事業部長 杉村氏



小樽消費者協会
事務局長 勝又氏



小樽商科大学
准教授 猪口氏

民学官で構成された5名の審査委員からは、農山漁村の生産現場における各活動団体の熱い思いと、活動による生産性向上の効果や人の繋がりなど、審査にあたって評価したポイントと、今後の活動の発展を期待したアドバイスとして応援コメントを述べました。

活動団体からは「この表彰が今後の活動の励みになる」「自分達の想いや活動の内容をたくさんの人に知ってもらえたことが嬉しい」という嬉しいコメントをいただきました。



後志総合振興局
農務課長 金谷氏



小樽開発建設部
池田次長



表彰に当たりお祝いの言葉を述べる福本小樽開発建設部長

表彰式の後には、雑誌の企画・取材・出版を自社でおこなっているソーゴ印刷(株)高原氏にお越しいただき、「地域の魅力への目のつけどころ」と題して、『外から見た地域の魅力とはどういうものなのか』を、事例をもとに取材側から見た視点で講演していただきました。地域の中では日常にあるものが、外からの視点ではその日常そのものに魅力を感じる事など、地域の内の中と外では価値観に違いがあることを話されました。また、組織の継続性や発展性には、人材育成が重要であり『愛着心』がこれからのキーワードであるという話題は活用できる内容でした。

講演に引き続き、意見交換会「秘めた魅力を考える」ではお互いの活動内容や活動に対する想いを話しました。

お互いの活動を初めて知った人も多く、「近くの町村でこんなにがんばっている人がいるんだ」と関心した様子で、自分達の活動のモチベーションを上げていました。また、「固定メンバーだけで考えていくと



聴く人を惹き付ける話題提供が好評のソーゴ印刷(株)高橋氏



活動がマンネリ化する」、「違う価値観を持った人の意見を取り入れることは、活動の幅を広げていくことに大変有効である」という意見には、多くの方が共感していました。

今回、表彰の有無にかかわらず全ての応募団体や関係者が出席してくれたことは、この運動を通じて地域と当部が良好な関係を構築していることの証だと思っています。

今後も、この良好な関係を保つために、地域の生産基盤の下支えとなる「わが村は美しくー北海道」運動を太く長く取り組んでいきたいと思ひます。



想いと経緯を話す米-1 グランプリinらんこし 実行委員会 向山委員長



価値観の違う人の意見も必要と述べる真狩道の駅管理組合 山上事務局長



人との繋がり大切さを語る美国・美しい海づくり協議会 若本氏